

第7回 田んぼの生物多様性向上10年プロジェクト 地域交流会 in 小田原



田んぼで暮らす、 ひと稲・生きもの の交流会 in 小田原



乾田化の普及、用水路のコンクリート化など、時代とともに田んぼも変化してきました。さらに、農家の高齢化や耕作放棄地の増加などの課題を抱えています。

しかしながら、無農薬や減農薬、冬みず田んぼなど、お米を作りながら、富士・箱根の見える田園景観や、雑木林に囲まれた棚田景観を維持し、蛍やドジョウ、蛙、鴨などの懐かしい生きものと共存する取り組み、つまり地域の環境にも貢献する農業の取り組みを紹介します。

またこれらの取り組みを農家だけでなく住民や消費者も「食べる・参加する・体感する」ことで支援できる多様で新しい仕組みについて参加者の皆様と共に議論します。

農家、消費者、販売や教育に携わる方、いろいろな立場の方々の参加を歓迎します。

本交流会は、「第7回田んぼの生物多様性向上10年プロジェクト地域交流会」として小田原で開催するものです。2010年に名古屋で開催された、生物多様性条約第10回締約国会議の場に参加した全ての国が、生きもの豊かさを10年間かけて取り戻すために、「愛知目標」を達成する約束をしました。ラムサール・ネットワーク日本では、田んぼを通じてこの目標を実現するために、「田んぼの生物多様性向上10年プロジェクト」を立ち上げ、環境省、農水省、地元自治体とも連携しながら、各地で地域交流会を開催し、田んぼの生きものに関心を持つ人々の環を広げる活動を行っています。現在200近い個人、団体の方がこの活動に参加しています。

日時 2017年 **6月18日** **日**

第Ⅰ部／田んぼ巡り(現地)
8:30~12:00

参加費
無料

第Ⅱ部／地域交流会
13:30~17:30

※事前申し込み制 6月15日締め切り

※詳細は裏面をご覧ください。

主催：NPO法人ラムサール・ネットワーク日本

共催：NPO法人小田原食とみどり、

あしがら冬みず田んぼの会

後援：環境省関東地方環境事務所、小田原市、
神奈川新聞社

協力：あしがら農の会、おだわら農人めだかの郷、
小田原有機農法研究会、志村屋米穀店、
パルシステム神奈川ゆめコープ、
ジョイファーム小田原、パルシステム連合会



このイベントは、平成29年度独立行政法人
環境再生保全機構地球環境基金の助成を
受けて開催されます。



コープネット事業連合
食卓を笑顔に、地域を豊かに。



MS&AD MS&AD インシユアランスグループ

